

問 1、

(1) 太陽から見ると地球は円になり、その円の面積 S は

$$S = \pi r^2 = 3.14 \times (6 \times 10^6 [m])^2 = 1.13 \times 10^{14} [m^2]$$

この円に 1 日に入射するエネルギーは

$$1366 [W/m^2] \times 1.13 \times 10^{14} [m^2] \times 24 \times 60 \times 60 [s] = 1.33 \times 10^{22} [J]$$

(2) $1.33 \times 10^{22} [J/day] \times (1 - 0.3) \times 45 \times 10^8 \times 365 [day] = 1.53 \times 10^{34} [J]$

(3)

$$\frac{1.5 \times 10^{13} [W]}{1366 [W/m^2] \times 1.08 \times 10^{14} [m^2]} = 1.02 \times 10^{-4}$$

従って約 0.1 ms

問 2 (1)

中性子の数は $15 \times 60 = 900 [s]$ で半分になるとしましょう。すなわち半分になるまでに進む距離は

$$3 \times 10^8 [m/s] \times 900 [s] = 2.7 \times 10^{11} [m]$$

担う。この時 $1.5 \times 10^{11} [m]$ すすむと

$$\left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{1.5 \times 10^{11}}{2.7 \times 10^{11}}} = 0.68$$

したがって 68% が地球に届く。(実際には相対論的効果で時間が延び、より多くの流心が地球に飛来する)

(2) 太陽から $1 m^2$ の検出器に向けて放出された中性子の数は

$$10 [\text{個}/m^2/s] \div 0.68$$

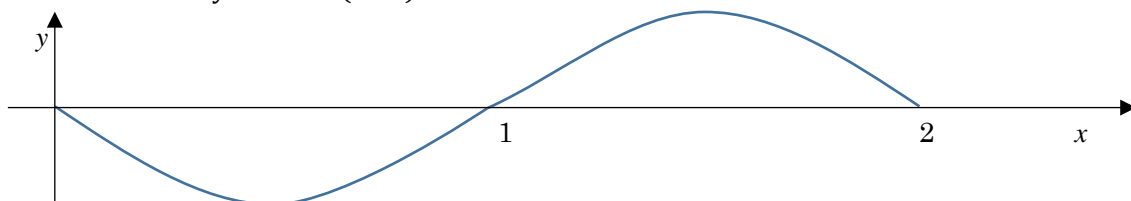
太陽を中心として検出器を含む球の表面積は $S = 4\pi(1.5 \times 10^{11})^2 [m^2]$ だから、太陽から放出された全中性子の数は

$$10 [\text{個}m^{-2}s^{-1}] \div 0.68 \times 4\pi \times (1.5 \times 10^{11})^2 [m^2] = 4.16 \times 10^{24} [\text{個}s^{-1}]$$

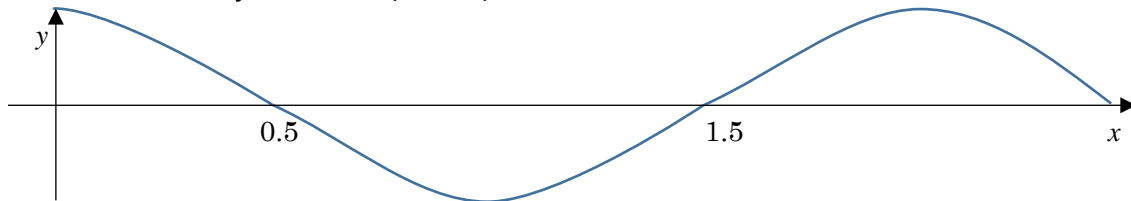
問 3 略

問 4、 $y = 1.5 \sin 2\pi(2t - 0.5x)$

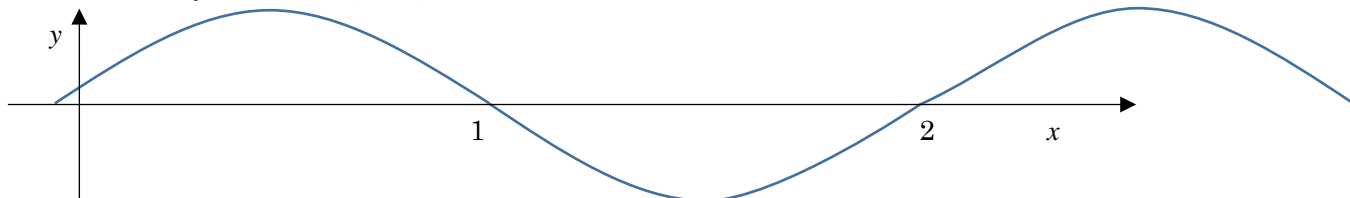
$t=0$ のとき $y = 1.5 \sin(-\pi x)$



$t=1/8$ のとき $y = 1.5 \sin \pi(0.5 - x)$ 位相が 0.5π 進む



$t=1/4$ のとき $y = 1.5 \sin \pi(1 - x)$ 位相が π 進む



すなわち 0.25 秒の間に $x=1$ 進むので、速さは $v=4$ [m/s]

問 5 $f(x) \sim 1 + nx + \frac{1}{2}n(n-1)x^2$

問 6 $x=0.01$ ($x \sim 0$)として、 $(1+x)^n$ を展開して $x=0.01$, $n=60$ を代入する。177,700 円

問 7 (1) $f(x) \sim 1 + 2 \log_e 5 \times 25^0 x + 4(\log_e 5)^2 \times 25^0 x^2 = 1 + 2 \log_e 5 x + 4(\log_e 5)^2 x^2$

(2) 1.37

問 8 (1) $\cos x = 1 - \frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{4!}x^4 - \frac{1}{6!}x^6$

(2) $\sin x = x - \frac{1}{3!}x^3 + \frac{1}{5!}x^5$

(3) $e^{ix} = 1 + ix - \frac{1}{2}x^2 - \frac{i}{3!}x^3 + \frac{1}{4!}x^4 + \frac{i}{5!}x^5 - \frac{1}{6!}x^6$

$$= \left(1 - \frac{1}{2}x^2 + \frac{1}{4!}x^4 - \frac{1}{6!}x^6\right) + i \left(x - \frac{1}{3!}x^3 + \frac{1}{5!}x^5\right) = \cos x + i \sin x$$